

2021

Vol.033

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター
健康で 楽しく 幸せに

きずな

賀春

新年に向けてメッセージ
五十嵐立青つくば市長
尾台昌治センター理事長
理事会・総務部会
女性会員たちの活躍
地区統括
ガマの油売りの口上名人

〈五十嵐市長様と尾台理事長の新春誌上対談〉

〈尾台昌治理事長の挨拶〉

あけましておめでとうございます。コロナ禍はまだまだ猛威を振るっていますが、人類はその叡智をもって、この難局を打開できると信じます。

シルバーを取り巻く環境に変化が生じており、65歳までの再雇用推進により、センターの戦力となるべき年齢層が高くなってきました。これらの高齢者が、労働力として社会に食いついていける仕組みが、地域で多く育っていることが大切です。またシルバー世代の女性たちの活用できる環境作りも重要です。センターには、さまざまな経験、知識、技術を持った会員がそろっています。そういう宝を活かせるような環境作りを目指しつつ、センター役員が先頭に立って行動します。みなさまのご協力をお願い申し上げます。あわせてみなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、このたびの五十嵐市長様との対談が、緊急自粛の要請で残念ながらも中止になりました。それに代わり、私どもから3点の要望をお送り申し上げますので、新春のコメントとともに

次のようなご回答を賜りました。誠にありがとうございます。

〈五十嵐立青つくば市長様〉



新年あけましておめでとうございます。

日頃から、つくば市政にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

つくば市では、皆さんが住み慣れた地域で安心して、自分らしく生き生きと暮らしていけるような環境づくりを推進しています。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響から本来の活動が十分にできない状況もあるかと思いますが、市は、皆さんが安心して暮らし、活動ができるように全力でサポートをしていきます。

結びに、つくば市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員の皆さんのご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。すばらしい1年にしましょう。

(センターの要望1) 高齢化社会に伴い多くの団地で空き家が増えていきます。つくば市シルバー人材センターも、空き家見回り対策事業を開始し、既に数件の受注引き合いがありました。国



内の他センターと同様に、市とセンターで「空き家管理の協定」を結ばないか検討しているか。

(市長) 現在、住宅政策課窓口にはシルバー人材センターの空き家対策事業のチラシの配布、空き家所有者等へのチラシ配布等を行っていますので、こちらは今後も引き続き協力出来ればと思います。協定についても検討していきます。

(センターの要望2) 高齢者雇用対策におけるセンターの役割を増強するためには、女性会員に焦点を合わせ、魅力あるセンターづくりが必要です。市としても女性会員の就業機会拡大にご尽力をお願い申し上げます。

(市長) 女性の活躍はとても重要なことだと思っており、現在市役所でも様々な取組を進めています。市の男女共同参画推進基本計画では、「あらゆる分野での活躍推進」を基本目標と定めています。より多くの女性が就業機会を得ることができるよう、広報つくばへの会員募集の掲載や、会員募集チラシの区会回覧、交流センター、老人福祉センター等の市の施設にシルバー

人材センターの広報誌「きずな」を設置する等の情報提供を行うなどとして、引き続き協力してまいります。

（センターの要望3） つくば市の事業や施策、ボランティア等でセンターができることやタイアップが可能な事業について支援の増強をお願い申し上げます。

（市長） 施設の管理業務や清掃業務、子育て支援、高齢者日常生活支援事業（すけっとくん）等において、会員の皆様が今までに培った技術や知識を生かし、様々な面で貢献していただいています。今後も企業での就業、剪定・草取りといった家庭での作業、地域のボランティアなど多岐にわたる活動がより充実したものになるように、市役所内においてもシルバー人材センターの活動内容の紹介や会員募集の周知を複数回行い、就業機会の増加や会員の増加、特に女性会員の増加につながるようこれまで以上にサポートしていきます。

〈理事会〉

〈センター事業実績報告〉

令和2年度センター上半期の運営概況を報告致します。会員数は9月現在

717名で、元年度から増えています。受注件数、就業延人員、契約金額は元年度に比較して大きく減少しています。これは施設管理などの請負・委任事業が茨城県シルバー人材連合会の派遣事業に移行し、センター事業から外れたためです。今年度は、コロナ禍に加え、7月の長雨、8月の

令和2年度4月～9月までの受注状況

受注先	種別	R2年度実績	R1年度実績
公共	件数 ^{注1}	200	328
	金額 ^{注2}	19,358	43,930
民間	件数	227	376
	金額	24,142	47,494
一般家庭	件数	1,530	1,467
	金額	39,738	37,735
独自事業	件数	11	12
	金額	3,110	7,211
合計	件数	1,968	2,183
	金額	86,348	136,370

注)1：件、注)2：千円

令和2年度4月～9月までの就業状況

年度	会員数（人）			受注件数（件）	就業延人員（人）	契約金額（千円）	就業率（%）
	男	女	合計				
R2	505	212	717	1,968	12,394	86,349	33.5
R1	506	210	716	2,183	21,605	136,370	54.3

猛暑などで受注件数減少が予想されましたが、一般家庭からの受注は逆に増加しており、コロナの影響もないと判断しています。

下半期は上半期の事業内容を精査し、受注増に向け前進してまいります。

（尾台理事長）

〈安全就業に係る基準を大幅に改正〉

令和2年11月の理事会で、前期の理事会から懸案になっていた『安全に係る基準』が大幅に改正されました。就業時の交通ルール、安全に関する遵守はもろんのことですが、剪定、草刈り作業中の標識等の設置、事故防止等の基準が詳細に決められました。特に、剪定、草刈り作業における安全就業基準の義務違反、安全措置を怠り事故が発生した場合、安全委員会において事故の原因を究明し、当該会員の過失が明確になれば、反則金のペナルティ2万円を科すことになりました。ペナルティの有無にかかわらず安全は最重点課題、事故ゼロを目指して頑張ります。

改正された安全就業基準については、令和3年1月1日から施行し、12月の『事務局だより』およびHPに概要を掲載しましたので参照してください。

〈普及啓発活動強化〉

- 毎年10月はシルバー事業の社会的意義、活動内容等を広く地域住民、行政側にご理解いただくとともに、会員拡大及び就業機会の拡大に向けて活動を展開しています。令和2年度では…
1. 就業開拓委員会による就業開拓のための企業訪問（30企業訪問…2件発注依頼あり）
 2. 市内全区长にチラシを配布し「全戸回覧」による会員募集を推進（10月1日実施）
 3. 発注者へのアンケート調査（請負業務のみ）（10月2日実施）
 4. 市内団地へ会員募集チラシをポストイング（10月7日実施）
対象団地…4カ所（豊里の杜・桜ニュータウン・緑が丘・桜ヶ丘各団地）
 5. 市広報誌に会員募集記事掲載（11月1日実施）（以後も継続）
 6. 会員意識アンケート調査（対象者712名）（10月30日実施）



桜ヶ丘団地内で剪定作業中の会員（右）に遭遇

〈総務部会〉

〈中期事業計画検討中〉

総務部会では各分科会で幾つかの重要課題を作業中です。センター運営の基本柱の一つである中期事業計画（2016～2020年）が、2021年3月に終了するので、新たな時代に即したセンターのあるべき姿を求めて、本年3月末をめどに、次期「中期事業計画2021年度～2025年度」（案）を関係部門に諮っているところ です。

- （1）会員拡大…令和7年度末までに1000人。女性会員の入会促進。
- （2）仕事拡大…令和7年度末までに派遣就業先数100社、受注件数（目標未定）、独自新規事業開発を目指す。高齢者が一定の労働人口として社会に定着を目指す。
- （3）後継者確保…新システム構築とそれに対応したインフラの整備。
- （4）魅力倍増…対内的魅力（会員に對して）として会員同士で、対外的魅力（お客様に對して）として社会全体の中で評価を高める。

◆やまびこ◆

令和2年10月、最高裁で注目すべき判決があった。一つは、日本郵便の契約社員が正社員に並ぶ待遇改善を訴えた裁判で、扶養手当など審理対象になった六項目の支給を認めた。東京メトロの子会社の元契約社員たちが訴えた賞与や退職金支給の是非について、最高裁は不合理とまでは言えないとして、一部支給を認めた高裁の判決を変更した。明暗二様。財政のひっ迫が懸念されるなかで、賃金や待遇の格差が縮まらず、先行きの経済情勢如何では、高齢者への負担（医療費負担など）増大の流れは避けられそうにない。

〈女性会員たちの活動〉

〈話が弾む「なかよし会」〉

令和2年10月29日谷田部老人福祉センターで「なかよし会」の茶話会が開かれました。役員の大瀬・皆見・大塚の御三方を中心に16名の女性会員の会話が弾む。一人ひとりの近況報告では、「草刈りでは暑くてくたくた、でも休み時間のおしゃべりがとても楽しい」「泊



崎では昼にウナギ。おいしかった」今日からはじめて参加します。よろしくお願ひします」「放課後児童保育で百人ぐらい面倒見えています。子供たちと一緒にとても幸せ」「こうして集まっておしゃべりできることが何よりうれしい」。10年前の発足時は、「女性会員を増やしてください」との本部の要請に4人でスタートしました。今、なかよし会は62名。役員が漏れなくみなさんをお誘いします。年4回開催し、新年会ではカラオケが人気です。今回は役員の2年任期満了を11月に控えて、話し合いで新役員、本山・谷中・青木の御三方を決めました。よろしくお願ひします。

〈なでしこ桜〉小町の郷での集い

令和2年10月27日に桜地区女性会員の交流の場である「なでしこ桜」が開催されました。今回は茨城県地球温暖化防止推進員の田上公恵さんに「温暖化防止につながる生ごみの資源リサイク



ル―段ボールコンポストの紹介―」を講演していただき、その後に食事会と懇談会を行いました。田上さんは竹園高校で、花室川の環境調査研究を通して環境教育を約20年実施したご経歴をおもちです。講演の最初は世界的に深刻な問題になっている地球温暖化の現状の話でした。温暖化対策の国際ルール「パリ協定」の目標達成には、2050年までに炭酸ガス等の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする必要があります。環境クイズを使った説明でしたが、環境知識度が低いことを思い知らされました。次の話は、生ごみを減量化して温暖化防止に貢献できる段ボールを使った堆肥作りの活動でした。これは毎日の生活で出てくる生ごみを微生物の力を借りて分解して堆肥にするもので、作った堆肥は家庭菜園等の植物の栽培に利用できます。参加者からは、この活動は手軽に出来るのでやってみたいとの声が出ました。田上さんはこの活動に興味があれば声をかけて下さいとのこと。今回の参加者は大穂地区会員1名を含め10名。今後もあるこのような活動を通して他地区の女性会員とも交流を続けていきたいと考えています。

(桜地区長 加地浩成)

〈地区活動レポート〉

【荃崎地区】

〈障子、襖、網戸の張替え勉強会〉

令和2年10月24日荃崎老人福祉センター内作業所において、参加者10名で障子張替えの勉強会が行われました。指南役は寺田清さん、渋谷隆さん。工程は、スポンジにお湯を含ませ障子紙がし、水気を拭き取る、外気乾燥、刷毛を使って糊付け、指先で糊を均等に伸ばす、障子紙張り、カッター入れ、点検補修、完成。どの工程も優しく丁寧な手捌きです。点検ではわずかの隙間を見つけて、端紙に糊を載せ差し込む、その丁寧さには思わずため息が漏れる。指南役から直に指導を受けて、無事完成です。Yさんは普通サイズの障子2枚、雪見障子8枚を持参しましたが、見事な仕上がりをみて、「これで



布で水気を拭き取る



糊を指先で均等にむらなく伸ばす

主人に威張れる」と笑顔でした。荃崎地区では、例年この時期に障子の張替え勉強会を実施しています。他地区の会員さんも興味ある方は、いつでも事務局へご連絡ください。

【筑波・豊里地区合同】

〈筑波山麓のみかん狩り〉

令和2年11月15日地区会員の交流と親睦を目的に筑波・豊里地区合同のみかん狩りが秋晴れの下で行われました。筑波地区22名、豊里地区10名という集団のため、地区長は絶対に感染させないという強い決意で、マスク着用、手指の消毒、体温チェック、体調確認を行い、全員異常無しを確認しました。さらに念のため、密にならないよう二人、三人ずつで車に分乗し、桜川市真壁町酒寄みかん園に到着しました。真壁町は温州みかんの北限地といわれています。霜が降りることが少ない温暖な筑



波山の斜面を利用して、10月下旬から12月に酒寄地区でみかん園がオープンします。みかんはコクがあり甘酸っぱい味わいが特徴という。食べました。実にうまい、きりつとした酸味は病みつきになりそうです。小粒のみかんはパンパンに実が詰まっっていて甘いという。一人ひとり味を確かめながら、思い思いにみかん狩りに集中した1時間半でした。食べ放題・持ち帰り1kg＝300円。口に頬ばり幸せな気分を顔一杯に、みかん狩りの時空を十二分に堪能しました。

【大穂地区】

〈小町山ハイキングとお蕎麦〉

小町山は運動と食の欲望を満たす絶好の場所です。令和2年11月22日、手打ち蕎麦の小町庵に開店11時に滑り込めるように、私たちのハイキングは8時半に登りを開始しました。もみじ谷を経て、仲睦まじい男女の道祖神の前では夫婦円満を祈りました。9時半展望台では霞ヶ浦までの眺望がすばらしく、次々と飛んでいくパラグライダーに私たちも興奮。10時に下り、大勢のハイカー



と挨拶を交わすなか、「先に行ってお蕎麦の順番を確保して！」の指令で、ひとりが走り出します。総勢10名、常陸秋そばの第一番打ちを堪能しました。天気も上々、12時半大穂庁舎でみなさん充実した笑顔満開で散会しました。

【桜地区・反町公園】

〈アダプト・ア・パーク参加〉

令和2年11月1日のアダプト・ア・パークでは、参加者14名、全員マスクを着け互いに距離を保って行われました。掃除の前にはラジオ体操で体をほぐし、久しぶりの再会にみんなが健康で元気な姿を確認して顔がほころびます。そして社会に貢献できる充実感を感じるのです。時々散策する人がセンターの旗に目を止め、掃除中の私たちに感謝のまなざしがありました。掃除後に意見交換を行い、地区長と地区統括部会員の伊藤さんから会員意識調査アンケートのお願いがありました。その他地区では、豊里地区が12月12日、大穂地区が12月20日に開催しています。



桜地区の皆さん（撮影のためにマスクを外しています）

〈草刈り剪定班〉

〈チームワークが命綱だった!〉

令和2年10月13日朝、不幸にも予期しない事態が発生しました。当日、草刈り班のA氏と仲間三名は、背丈1.5mと繁茂した畑の除草作業で、作業前に入念に危険物の有無、点検と確認を行いました。その後、刈払機に給油中、突然A氏の左肩に『チクッ』と激痛が走り、一匹のオオスズメバチが飛び去って行きました。仲間がこの異変に気づき、緊急用に常備していた吸引器で、直ちに蜂毒を吸い出し、応急処置として患部に薬を塗りました。その後、大丈夫だと思い刈払機を使い始めましたが、5分も経たないうちに、A氏の視界が見えなくなり、めまいやだるさ、嘔吐と続きました。意識が混濁し、体に斑点が浮き出ているのを見て、仲間が119番に緊急通報し、ドクターカーも出動する事態となりました。医師が直ちに、応急処置を講じ、メデイカルセンターに搬送、入院とな



刈払機に燃料給油中

りました。A氏は医者から「対応が適切だった。一步遅れていたら命が危なかった」。幸いにも翌日には退院できましたが、A氏は、「適切な応急処置、素早い連絡、的確な救急車の誘導などチームワークのお陰で助かりました」と、仲間に感謝していました。

A氏は、理事を四年務め、安全対策委員長として『作業の安全』に精力的に取り組み、令和元年度の事故件数を5件と激減させました。「危険は思わぬところに潜んでいる、突然の事態に備え、常日頃から何事にも対応できる心構えと準備そしてチームワークが必要」と訴えていました。

〈提言〉

令和3年度は理事数名の改選が行われる予定と聞きます。理事経験者の一会員として、期待される理事・監事候補者について、意見を述べたい。まず、候補者に関する個人情報守秘義務徹底を前提に、事前に複数の中立的な会員（非役員）によりフルイにかけておくことも必要ではないでしょうか。

〈理事・監事候補者には、公平な判断力と発言力が求められる。少なくとも

も二年間は各部会・委員会などでの活動経験があり、センターの運営・活動を理解している。本人が属する組織から推薦に値する人物であるとの評価がされている。センターの仕事などで客先や会員と無用なトラブルを起こしていない。〉

〈手打ちうどんを作ろう!〉

趣味と実益を兼ねた食べモノ作りは楽しい! 交流センターの広報ポスターでうどん作りの講座を知り、昨年9月個人で参加しました。主催は「働く婦人の家」。ここは筑波山の麓にあり、さまざまな企画を工夫して行っており、筆者が以前に孫を連れて楽しい工作時間を過ごしたところでもありません。講師はベテランの山崎巖先生が、この施設内の広いキッチンを使っ



て、私たち6人の受講生を3時間かかって丁寧教えてくださいました。うどん作りもそば打ちも、やり方はほぼ同じです。中力粉を使用してこねたうどんは、本来一晩寝かせるところですが、時間の制約上一時間寝かせただけです。しっかりと作ったうどんの試食会では、菌ごたえといい、のど越しの良さといい、某Sうどんを圧倒する美味しさでした。筆者が自作のうどんを近所に住む孫娘に届けたら、あとで孫娘からメールで「うどんってすごい！」。なお、ゆで時間はたっぷり熱湯で15分間を厳守すること。

〈ガマの油売りの口上〉名人

「さあさあ、お立会い・・・、ご用とお急ぎでない方は、とくと聞いておいで・・・」、有名な筑波山の伝統芸能『ガマの油売りの口上』の冒頭です。『ガマの油売りの口上』は、全国的に有名な、この名人が、第20代名人永井兵助を襲名する金野龍一さん71歳、センターの会員です。

名人は、元文部省職員として筑波大学創設に携わり、つくば市発展の歴史を知る貴重な方です。『ガマの油売り



の口上』を始めた動機は、大学勤務中、筑波山ガマ祭りに参加して18代名人のガマ口上を聞き、それに魅せられ習い始めました。それ以来、45年、NHK「お国自慢西東」、「寅さんサミット」、国立劇場での歌舞伎の前座、茨城国体など名だたる場所や催しで口演・演技してきました。現在は、『筑波山ガマ口上保存会』に所属し、センターで「放置自転車防止指導員」として勤務する傍ら、後継者の育成、全国で口演を行っています。

『ガマの油売りの口上』は、市の民俗芸能無形文化財に指定され、名人位はつくば市長が認定します。一回の口演は15分、「口上を述べながら、見ている人の空気を読み、演技に変化をつけ、雰囲気を作るのが難しい」、「口演に引き付けられ、終わった時の拍手喝さいが一番うれしい」、そして「口演の緊張感と腹の底から声を出すことで

脳を活性化し、健康でボケ防止にもなり、体力が続く限り続ける」とのこと。毎日、柔軟体操を40分、1〜2回、口上を練習するなど身技を鍛えています。今後「生涯学習の一環として公開講座を開き、この郷土芸能を残したい」とのことでした。いつか、名人の正調『ガマの油売りの口上』聞きたいものです。

〈入会説明会のご案内〉

令和3年

月日	時間	場所
2月12日(金)	13時30分〜	大穂庁舎3階 シルバー会議室
3月11日(木)	13時30分〜	大穂庁舎3階 シルバー会議室

表紙の説明

昨年11月初旬、市内豊里の農地で見かけた青いパイヤ。低い樹高。下の方から青い実が育ち、上にはこれから実になる花がいくつも咲いていました。消化酵素を多く含み、パイヤと混ぜた肉が柔らかくなると、通りすがりの農婦が教えてくれました。奄美ではパイヤ漬けとして漬けるもので売っていました。味は？ウーン。